

街道シリーズパート1:京街道枚方宿周辺を歩きます。当日は雨模様となり途中の光善寺駅までとなりました。
枚方市駅⇒枚方宿東見附⇒枚方橋⇒宗左の辻⇒本陣跡⇒鍵屋⇒枚方宿西見附⇒水面回廊⇒光善寺⇒光善寺駅



山元支部長挨拶



街道シリーズ解説の加藤さん



雨の中枚方市駅出発



出発点の枚方宿東見附



街道脇に咲く彼岸花



枚方橋のなごり



宗左の辻



京街道



本陣跡



鍵屋



枚方宿西見附



郵便屋の渡し碑



京街道を離れて寝屋川市まで延びる「出口雨水幹線」を利用した水面回廊に入り、記念撮影と昼食をとりました。



水面回廊案内板



水面回廊を歩く



光善寺



樹齢700年の柿木⇒解散

一本の木から「共生の森」づくり
7 班 吉岡 孝夫さん

定年間近の 2008 年 2 月初めて「共生の森」植樹祭に参加しました。そこは森といっても何もない原っぱでした。海風が強くと吹き、雪が舞う寒々とした所でしたが、何か新鮮さを感じる異空間でした。



初植樹する吉岡さん

そして「100 年をかけて森を造る」という言葉に魅せられて活動を始め

夢中人の紹介

ました。でも何の知識もない私、木の名前を覚えることから始めましたが森を造るには木だけではなく、草・鳥・虫たちのことも知らなくてはならなくなりました。

また生物多様性/里山/ビオトープなど知らない言葉についても聞きまくる日々でした。色々なイベント、観察会などに参加がすることで、月の半分以上は出かける日々、おかげで現役時代より付き合う人が増え、メールも欠かせない毎日です。貧乏暇なし、病気になる間もありません(笑)。木を

植えて 7 年が経ちました。少しは森らしくなってきましたが、今は竹林の創生、仲間づくりと課題が増えつつあります。あと何年続けられるか? 体力・気力のある限り、今青春真っ盛り! まだまだ夢の途中です。



支部活動にて「共生の森植樹祭」参加

2012 年寝屋川支部で「共生の森植樹祭」、体験参加を計画、20 名が参加しました。今も草に埋もれながら成長しています。

第 139 回歴史と街道を巡る

9 月 24 日(木)京阪電鉄枚方市駅改札前集合で「歴史と街道を巡る」初の街道シリーズが開催されました。当日は 5 年半ぶりに集合時間から雨天の開催となり、参加者は 11 名と少なめでした。

当初コース設定は東海道 57 宿の 56 番目の宿場町であった枚方宿から門真の地へかけての京街道歩きの計画でしたが、雨天での開催事情も考慮され光善寺駅までの短縮コースへと急遽変更になりました。

はじめの枚方宿では東見附～西見

附 797 間(約 1,500m)の宿場の端から端までを巡りました。宗左の辻の道標や常夜燈、本陣跡や鍵屋の建物等の見学等、「枚方宿まちなみ景観建造物」プレートの貼付された建物群の町並み保存活動などをゆっくりと見る事が出来ました。



枚方宿 常夜燈前にて

続いて、枚方大橋近くの「水面回廊・ふれあいの広場」で昼食・休憩後、

整備された水路沿いを光善寺方面へ散策となりました。雨の中でしたが虫の声を楽しみ、金木犀の香りに癒され、草花など秋の風情を楽しむことができました。



水面回廊 ふれあいの広場

その後、光善寺山門や段蔵や伝・樹齢 700 年の柿の巨木を見学後、全員で光善寺駅まで移動し帰路につきました。

先日奈良県広陵町に住む、小学 6 年の孫娘に会いました。彼女は論語を勉強しているのです。小学校で論語の教えているのですね。好奇心もあり内容を見せてもらいました。その 1 節に我が同好会の想いと相通じるものがあり嬉しく思いました。『之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。…何よりも物事を楽しむ事に勝るものはないとの教えですね』☆最近の活動内容

①ラベルマイティの活用②タブレットの検討③画像加工④Windows10 導入⑤筆まめ 26 の導入等。



NPC 同好会(パソコンを楽しむ会)

同好会の紹介



カラオケ同好会の皆さん

カラオケ同好会は再発足して早 4 年目になりました。当初は数人の事もありましたが、最近は毎回 10 人前後の参加者でカラオケを練習しています。文字通りの猛暑の今年は歌だけでなく、納涼をかねて焼肉屋で鋭気を養いました。上手に歌うには、毎日の規則正しい生活からの積み重ねではないかと思えます。長寿社会といわれている今日、最近の新曲にはタイトルに、100 歳をテーマにした曲が、多々発表されています。カラオケを通して、元気に長生きに挑戦していく参加者を募集しています。(世話役 11 班 嶋田)